

2011年 4月28日

プロジェクト報告書

【締切:プロジェクト終了後1か月以内。もしくは 2012年4月30日】

団体名 特定非営利活動法人 自立生活センター・昭島

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

1. プロジェクト名

様々な差別虐待の共通する問題点を表面化することで、障害者に対する差別虐待を防止を図る事業。

2. プロジェクトの目的とその背景 300文字まで

※応募申請書に記載のもので可。

差別虐待が起きる背景として、障害者を取り巻く、社会の閉鎖性が原因と考えられる。昭島地域においては、他市に比べ、流入出の人口の多さは、社会的連携の希薄さを助長していると考えられる。この事を起因として福祉施策の情報が、充分に行き渡らない状況があり、その中で障害者のサポートが、一点集中された結果として、差別虐待が不可視化として進む傾向を、浮き彫りにして行きたい。昨年度、sinjyo プロジェクトの助成を受け、権利条約と虐待についての講演会を行ったが、その中において、不作為による差別虐待について、加害者となる場合があることを認識した。事前に防止する為に、差別虐待の本質を知り、市民全体で共有化を行う。

3. プロジェクトの内容 300文字まで

※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のもので可。

- ・事前学習会 2回 「女性に対する暴力について」
「児童に対する虐待について」

・3月12日に「障害者の虐待」についてのシンポジウムを開催の予定でしたが、東日本大地震により7月16日に延期を致します。

- ・「学習会報告書」の作成・印刷・配布(シンポジウムの参加者配布予定)
(「通信」に、報告概略を記載して配布)

4. プロジェクト実施にあたっての工夫点とその効果 300文字まで

昭島市役所を通して、関係機関(昭島市婦人保護施設と東京都福祉保険局の児童相談所)を紹介していただきました。婦人保護施設への講師依頼の際に、男性職員が問い合わせをしましたが不信感をもたれ、急ぎ女性職員が対応、訪問が可能になりました。

今まで関わったことのない分野でしたので、戸惑いもありましたが準備を進めて行く中で、関心が深まり、又、新たな関係性が出来たと思います。

5. 全体的所感、終了しての感想など 300文字まで

事務所内の感想としては、女性の暴力・児童虐待2回の学習会を通して、暴力や虐待がおこる背景には、社会的構造で生み出された貧困、世代間の連鎖など、様々な要因が重なり合っている事を認識しました。参加された方々も、同じように認識して頂けたと思います。各関係者に、暴力や虐待について触れてもらったことは、大きな成果になったと思います。

又、防止策としては地域市民の協力や、各行政機関・警察と連携を取り、より多くの情報や、早期発見に繋がることが、重要だと感じました。それらを踏まえ、障害者虐待についてのシンポジウムでは、より具体化されると思います。

6. 参考資料

支援対象プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等は現物またはコピー、活動風景の写真を参考資料として提供してください。

参考資料あり・特になし